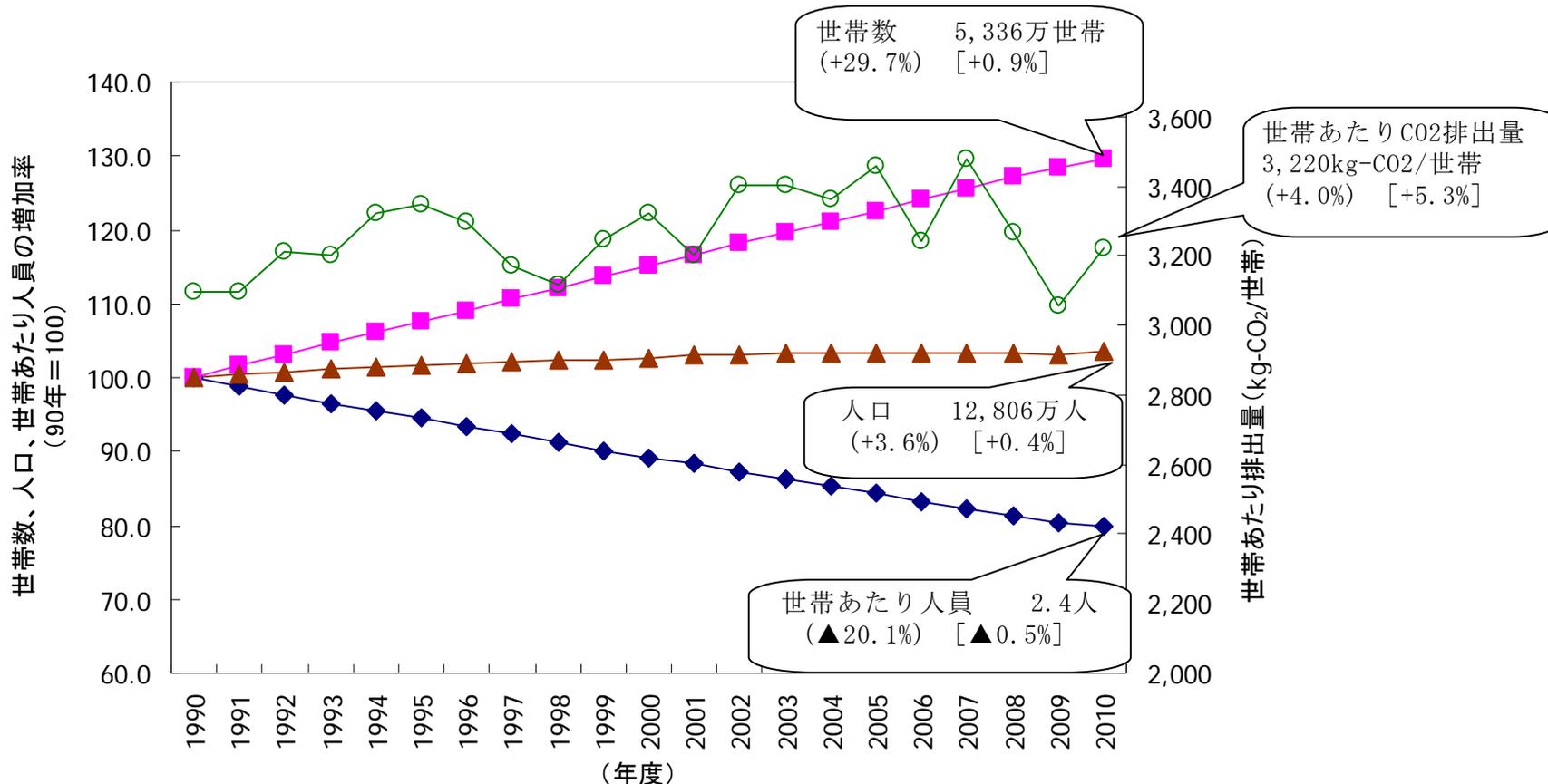


# 世帯数、人口、世帯あたり人数、世帯あたりCO<sub>2</sub>排出量の推移

- 人口・世帯数の推移を見ると、人口は近年横ばいで推移する一方、単身世帯の増加などにより世帯数はほぼ一定のペースで増加し2010年度は1990年度比で29.7%増加している。世帯あたり人員は減少を続けており、2010年度は1990年度比で20.1%減少している。
- 世帯あたりのCO<sub>2</sub>排出量は2008年度、2009年度は連続して減少していたが、2010年度は前年度に比べ5.3%の増加となり、1990年度に比べ4.0%の増加となった。



※対象としている排出量は家庭内のエネルギー使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量で、自動車利用に伴う排出量は含まない。  
人口は当該年の10月1日時点、世帯数は3月31日時点の数値。

(1990年度比)[前年度比]

<出典> 温室効果ガス排出・吸収目録、住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(総務省)、  
国勢調査(総務省)、総務省ホームページをもとに作成